



秋田東ロータリークラブ

輪 と 和

初代会長 最上義広 筆

2022-2023年度

会長 三浦征善 幹事 佐賀晴樹
例会場 ホテルメトロポリタン秋田
例会日 月曜日 12:30~13:30
事務局 秋田市中通7丁目2-1 ホテルメトロポリタン秋田内
TEL018-853-0137 FAX018-853-0139

2023年6月12日(晴) 第2918回例会(第31回)


NO. 2452

次 第


司会;明石 浩貴 副幹事

1. 点 鐘 三浦 征善 会長
2. ローターリーソング「我等の生業」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 来訪ロータリアン・ゲストのご紹介 渡部羊三直前会長
5. お食事の時間
6. 会長の時間 三浦 征善 会長
7. 新会員の紹介 紹介;佐賀 晴樹 幹事

山内法律事務所 弁護士 有働 悠一 会員
推薦者;加藤 俊介 元会長


8. ニコニコニュースの時間 安藤 晃 委員長
9. ゲストスピーチ

ゲ ス ト ; 日本赤十字社秋田県支部
事務局長 保坂 学 氏



テ ー マ ; 「2023年トルコ・シリア地震における支援活動」
10. 点 鐘 三浦 征善 会長

◎ゲストスピーチ

「2023年トルコ・シリア地震における支援活動」

日本赤十字社秋田県支部
事務局長 保坂 学 氏

2月6日現地時間**午前4時17分**、トルコ南東部のシリアとの国境付近を震源とする**マグニチュード7.8**の地震が発生
・長さ**250km**にわたる**断層線**（震源域）の**横ずれ**（最大**9m**）
・異なる断層の連鎖で、9時間後に北**100km**離れた場所で**M7.5**の地震が発生

- 死者 トルコ・シリア両国合わせて 5万6千人以上
（東日本大震災 死者1万5,900人、行方不明者2,523人）
- 負傷者、建物・ライフライン等の被害の全容は不明
建物倒壊 トルコだけで5万棟以上
- 避難所生活者 トルコだけで 250万人（2023年4月）

国際赤十字赤新月社連盟（IFRC）

（目的）災害被災者の救出及び復興支援、各国赤十字・赤新月社の連絡調整
加盟国・赤十字社 152カ国 ・赤新月社 34カ国

赤十字国際委員会（ICRC）

（目的）紛争地域における活動

国際赤十字の支援活動

現地では国際赤十字赤新月社連盟・赤十字国際委員会のサポートの下、トルコ赤新月社、シリア赤新月社の職員及びボランティアを中心に活動を行っている。

- 避難所支援 ・・・・ 大型テント、家庭用テント、毛布、寝袋、マットレス、食料、水、医薬品、乳児用ミルク・オムツ 等
- 食事の提供 ・・・・ [トルコ]キッチンカーで温かい食事、レトルト食品の提供
- 血液の提供 ・・・・ 血液製剤の提供、トルコ全土の人びとに献血を呼びかけ
- 水・衛生支援 ・・・・ 水インフラの修理、浄水タンクの設置
- 赤十字特有の支援 ・・・・ 巡回診療サービス、[シ]離れ離れになった家族の再会支援
[トルコ]「こころのケア」活動
（子どもたちのストレスやトラウマの軽減
…遊び場、おもちゃ、ぬり絵、絵本など）
[シリア]ジェンダーに基づく暴力の予防啓発活動
- 現金給付 ・・・・ [トルコ]キャッシュカードの活用により生活支援金を給付

日本赤十字社の支援活動

●資金援助・物資支援 総額 26 億 8,500 万円 (2023 年 5 月 31 日現在)

【トルコ】 19 億 6,200 万円

- ・資金援助 11 億 1,000 万円
- ・巡回診療支援 5 億円
- ・救援物資支援 5,500 万円
- ・衛生車両支援 1 億 600 万円 (シャワー車両等)
- ・車両支援 1 億 9,100 万円

【シリア】 7 億 2,300 万円

- ・資金援助 4 億 9,000 万円
- ・巡回診療支援 2 億円
- ・救援物資支援 3,000 万円

●日赤職員の派遣

- ・トルコへ医師・看護師・こころのケア要員からなる医療調査団を派遣 (現地の保健医療ニーズ及び日赤の支援拡大の可能性を調査)
- ・シリアへ巡回医療緊急支援チームとして薬剤師を派遣 (医薬品等 1.3 トンを提供)
- ・シリアへ保健医療全般の活動を指揮・サポートする看護師を派遣
- ・トルコ・シリア両国に連絡調整員を継続的に派遣し、国際赤十字との連携を行っている

●今後の活動

- ・引き継ぎ、資金援助、巡回診療等保健医療支援、医薬品支援・救援車両支援など 40 億円規模の支援を計画・実施することとしている。
(支援計画の資金目処が立ったため、救援金受付は 5 月 31 日をもって終了)
- ・医薬品支援 300 万円

支援活動の課題

○シリア

- ・12 年間の武力紛争 (反政府組織の支配地域で被害大)
- ・経済危機 (品不足と物価の高騰)
- ・新型コロナウイルス、コレラの蔓延

○被害が甚大。息の長い支援、復興のステージに応じた支援が必要

第 1 段階 命を守る支援活動

負傷者の応急手当、テントの設営、水・食料・医薬品等の物資配布

第 2 段階 生活と心身の健康を守る支援活動

巡回診療、仮設住宅、現金給付、こころのケア活動

第 3 段階 元の生活に戻る復興の支援活動

住宅・生活インフラ・教育施設・医療施設等の整備

救援金を日赤に寄付した場合と他の団体に寄付した場合に違いはあるの？

…一概に比較することは難しいけれども… 今回のトルコ・シリア地震では

(1) 約 1 万人の職員とボランティアが支援活動を行っている

- ① (ボランティアも被災者なので) 多岐にわたる地域ニーズを把握
- ② 救援物資を困っている人に迅速に交付

(2) 国際的なネットワークがある

- ① 戦地における支援活動
(赤十字国際委員会：紛争地域における人道支援活動)
- ② 離れ離れになった家族の再会支援
- ③ マレーシア・アラブ首長国連邦等を救援物資の搬送拠点
- ④ 各国赤十字社・赤新月社の強み・弱みを補える (保健医療、建設事業、食料供給…)

(3) 医師・看護師・薬剤師等医療スタッフがいる

- ① 医療機器、医薬品が調達できれば、直ぐに医療活動が可能
- ② 臨床心理士によるこころのケア活動

(4) 寄付金の全額を国際赤十字、地元赤十字組織、日本赤十字社の直接の支援活動に活用

日本赤十字社は「支援を求めているすべての人々に確実に支援を届ける」という決意を持って活動しています。皆様からの温かいご支援誠にありがとうございました。

◎ニコニコニュース

安藤 晃 委員長

加藤 俊介 元会長

金子さんと同じく、国際ロータリー・メルボルン大会に出席させていただきましたのでニコニコします。

安藤 晃 委員長

次回例会で、ニコニコボックス開かんします。4月から6月までの3ヶ月分です。お手許の過去10年間の献金実績を参考に投票してください。
